

へない、學校でも家庭でも喜んで性欲に關する書物を讀む時代がくることを希望するものである。英國に「結婚と産兒制限」といふ書物が發行された自分はその本を讀んで何故にこの書物の發行を望まないのだらうかと考えたが後に成程英國は言論の自由國であるといふことに感服した。この本を讀めば總ての性欲問題を解決するこゝとが出来る。この本さえ多くの人が讀めば離縁することがもつと少くなるであらうと思つた。私は廓清會に關係して居るが早婚をするにあらざれば私娼を撲滅することが出来ないといふて居る。昨夏廿二才の青年が休みに歸國すれば結婚せなければならぬが自分も妻となるものも豊でない結婚すれば子供が出来るものと考へねばならぬ。すれば夫婦同居することが出来ないから何か産兒制限の方法はないかと自分に手紙をおこした。それで自分はその青年に同情して早速隣者に紹介してやつた。その人は今頃は幸福に夫婦同居して居るに相違ない。